

全国地域安全運動が始まります！

運動期間 10月11日から10月20日までの10日間

★目的

防犯協会を始めとする関係機関・団体及び警察が、相互の連携を一層緊密にすることにより、地域安全活動の一層の浸透と定着を図り、もって安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的とする。

★運動重点

- 子供と女性の犯罪被害防止
- 特殊詐欺の被害防止
- 自転車盗、万引きの被害防止



この期間、大分県内各地で、様々な防犯イベント等が予定されています。この運動を契機に、『日本一安全な大分』を一緒に築いていきましょう。



キャッシュカードを渡さない！暗証番号を教えないで！

県内で、キャッシュカードを騙し取られ現金が引き出される特殊詐欺被害が、7月に2件、9月に4件発生しています！

① 警察官を名乗り

「詐欺犯人グループを捕まえた。あなたの口座が悪用されている。キャッシュカードが偽造されている。再発行するので暗証番号を教えてください」
市役所職員を名乗り



「社会保険の払い戻しがある。銀行から電話がある。暗証番号を教えてください」などと電話がある。

② 次に金融機関の職員を名乗り

「再発行手続きのためキャッシュカードを預かる。」「当行の者を行かせる。」などと電話がある。

③ その後、犯人グループが自宅を訪れ、通帳やキャッシュカードをだまし取る。

④ 犯人は最初に聞き出したキャッシュカードの暗証番号を使いATMで現金を引き出す。

再発行手続きの間、悪用されないようにするため、キャッシュカードを封筒に入れて、誰も触れないように封印しましょう。



犯人は、キャッシュカードを被害者自身に封筒に入れさせて、被害者がその封筒を封印するため印鑑を取りに行くなど、封筒から目を離した隙に、犯人が**事前に用意していた偽の封筒とすり替えて、キャッシュカードを盗んでしまう**手口も発生しています。

金融機関の職員や警察官が、キャッシュカード再発行手続きで自宅を訪問したり、暗証番号を聞いたり、通帳やカードを持ち帰ることはありません！

外出時の防犯対策、していますか？

年末に向けて、「家族旅行をしよう」と考えている方は、少なくないと思います。

長期間不在にすると、空き巣の犯人に狙われやすくなってしまいます。そこで、今から外出時の防犯対策を見直しておきましょう。



◎ 犯人に狙われにくい家を目指しましょう。



犯人に狙われにくい家とは？

ずばり「**死角がない家**」です。

もちろん鍵がしっかりかかっていることも重要ですが、その前に死角を作らないことが大切です。

死角がある家は、犯人にとって恰好的になってしまいます。

◎ 死角をなくして空き巣犯人に強い家を！

🔑 キーワード **監視の目** **光** **音**

- ◎ 監視の目 … 犯行発覚をおそれる犯人の動向監視・威嚇
- ◎ 光 … 光は侵入する犯人を感知し、威嚇・発見
- ◎ 音 … 音で犯人を威嚇・通報



具体的な対策は？

- ① 監視の目
防犯カメラ設置 など



- ② 光
センサーライト設置 など



- ③ 音
砂利を敷く など



◎ 基本的な防犯対策も忘れずにしましょう！

① 確実な戸締まりをしましょう。

1番大切なことは、自宅の戸締まりをすることです。

全ての窓やドアに鍵がかかっているかどうか確認して外出しましょう。

2階の窓や高窓などは犯人の侵入口になりやすいので、窓にもしっかりと鍵をかけましょう。



② 不在と悟られない対策をとりましょう。

自宅を不在にしても、自宅内の照明を点けたままにしたり、不在の間は新聞等を止め、ポストに新聞がたまらないようにする等一見して不在だと悟られない対策も効果的です。

